

山形カシオ株式会社 環境サイトレポート 2019

～地球に優しく地域に根付くエコファクトリー～



ごあいさつ

山形カシオ株式会社は、予めよりISO14001の認証を取得し、カシオ環境経営方針にある1)低炭素社会の実現、2)資源循環型社会の実現、3)自然との共生のため、計画的な設備投資による省エネルギー化を推進したCO2の排出量の削減、業者選定による産業廃棄物リサイクルの促進(ゼロエミッションの達成)、定期的な構内の生物多様性調査による是正など環境保全への取組を実践してまいりました。今後も、地球環境保全を第一に考え、事業活動と環境保全の両立を目指し、技術的な課題に積極的に取り組むとともに、職場のみならず家庭においても、従業員一人ひとりが環境保全活動に取り組み、社会の持続的成長の実現に貢献してまいります。

代表取締役社長 福士 卓



山形カシオ環境方針

基本理念

山形カシオ株式会社は、カシオグループとして「カシオ環境ビジョン2050」を尊重し、地球環境保全が人類共通かつ、事業活動の最重要課題の一つであることを認識し、環境に配慮した事業活動を積極的に推進します。

基本方針

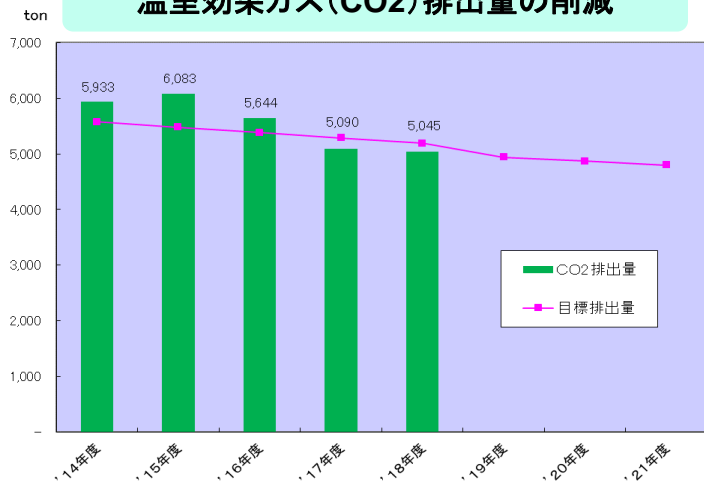
1. 山形カシオが行う事業活動が環境に与える影響を把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目標を定め、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。
2. 環境関連の法律、条例、協定及び受け入れを決めたその他の要求事項を順守すると共に、汚染の予防を図ります。
3. 事業活動を通じ、省エネルギー、省資源化を図ります。
4. 事業活動による廃棄物の削減、リユース化、リサイクル化を推進し環境の保全を図ります。
5. 生物多様性の保全を図ります。
6. 環境教育や社内広報活動を通して、当社内で働く全ての人に環境方針の徹底を図ります。
7. 環境方針は、利害関係者が入手可能なものとします。

改訂日：2019年 6月 1日

主要環境目標・結果(2018年度)

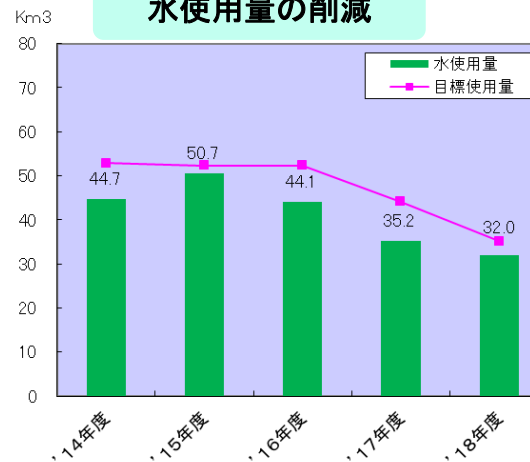
目標	目標の定義	目標値	実績値	評価
温室効果ガス(CO2)排出量の削減	2013年度に対し2030年度に26%削減	5,193 ton	5,045 ton	○
水使用量の削減	2017年度実績以下	35.2 Km3	32.0 Km3	○
事務用紙使用量の削減	2017年度実績以下	4.6 ton	4.4 ton	○
廃棄物発生量の削減	2017年度実績以下	482 ton	485 ton	×

温室効果ガス(CO2)排出量の削減



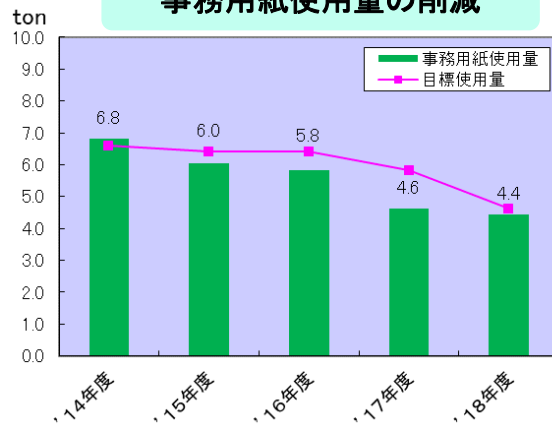
時計工場が増築され稼働しましたが、空調機のヒートポンプ式への更新、照明のLED化、加湿装置の脱ボイラー化などの省エネ設備投資を始め、不要照明の消灯や帰宅時のPC電源OFFなど通常の省エネ活動や、クールビズ/ウォームビズなど夏場/冬場の電力削減活動などにより、エネルギー使用量を削減し、結果的にCO2排出量を削減できました。

水使用量の削減



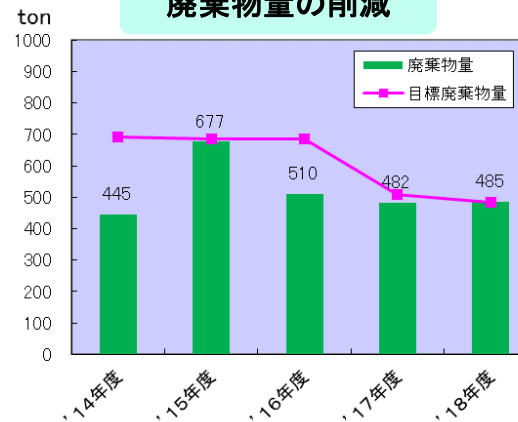
定期的に水使用量を監視し、全社的に節水の啓蒙活動をする事により、水使用量を削減しました。

事務用紙使用量の削減



紙の表裏印刷/Nアップ印刷/裏紙印刷や、文書類の電子化保存などを徹底する事により、事務用紙使用量を削減しました。

廃棄物量の削減



外販、及びデジタルカメラの終息に伴い、金型の廃棄や、デジタルカメラ用生産設備の廃棄により、廃棄物量が昨年度より微増しました。

2018年度のマテリアルバランス

インプット

エネルギー投入量 2,269 Kℓ 原油換算

電力量 8,446 千Kwh

燃料 148 Kℓ 原油換算

水資源投入量 32.0 千m3

VOC(揮発性有機化合物)投入量 0.39 ton

紙使用量 ※1 4.4 ton

PRTR対象化学物質投入量 0.39 ton

※1 コピー用紙、事務用紙

山形カシオ
(本社)

循環資源

アウトプット

温室効果ガス

CO2排出量 5,045 ton

大気汚染物質

NOx 0.15 ton

SOx 0.77 ton

ばいじん 0.01 ton

VOC大気排出量 0.39 ton

排水量 15.6 千m3

BOD 3.2 ton

PRTR対象化学物質排出量・移動量 0.39 ton

排出量 0.39 ton

移動量 0 ton

廃棄物等発生量 485.3 ton

廃棄物発生量 189.3 ton

有価物発生量 296.0 ton

最終埋立処分量 0 ton

中間処理減量化 32.0 ton

再資源化量 453.3 ton

埋立/発生比 ※2 0 %

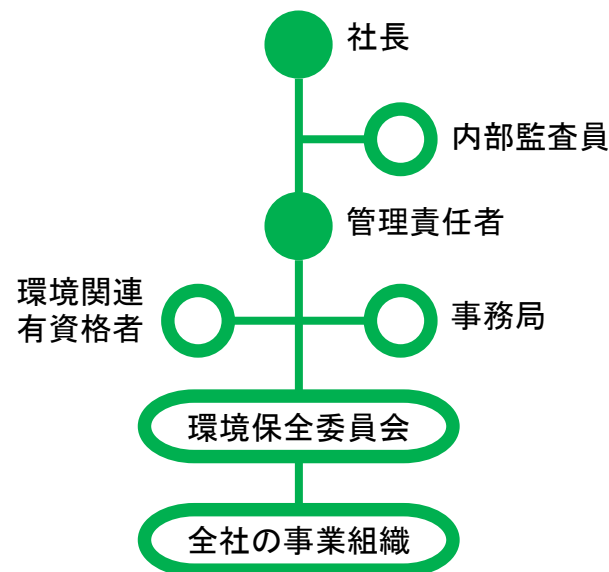
再資源化率 100 %

※2 カシオグループのゼロエミッション定義:
埋立廃棄率=(最終埋立処分量/廃棄物等発生量)×100が1%以下であること。

環境活動経緯

- 1996. 4 ●環境活動開始
- 1997.11 ●ISO14001認証取得
 - 埋立廃棄物の削減
 - 廃プラスチックのリサイクル開始
 - 省エネルギーの推進
 - 省資源化の推進
- 2007. 7 ●廃プラスチック類リサイクル化完了
- 2001. 3 ●プリント基板有機溶剤洗浄槽の廃止
- 11 ●焼却炉の廃止
- 2002. ●埋立廃棄量削減(1998年度205t→2002年度12t)
- 2003. 5 ●圧縮機導入(廃プラスチック減溶化)
- 6 ●ゼロエミッション達成
 - コジェネレーション設備本格稼働
- 2004. 6 ●さくらんぼマラソン大会協賛開始
- 2005. 6 ●山形県知事賞受賞(環境保全推進賞)
- 11 ●日経ものづくり大賞受賞
 - 東根市環境週間イベント参加開始
- 12 ●TPM特別賞受賞
 - バイオ処理開始(有機汚泥排出量の削減)
- 2006. 7 ●環境サイトレポート発行開始
- 8 ●水蓄熱機能付ヒートポンプエアコン導入
 - 初期照度補償機能付インバーター蛍光灯 & HF管導入
- 10 ●コジェネレーション廃止
- 2007. 1 ●あかり安心サービス導入
- 2 ●省エネ委員会設置
- 4 ●エネルギー管理システム機能アップ
- 5 ●高効率変圧器段階的導入開始
 - 水蓄熱機能付ヒートポンプエアコン増設
- 10 ●ものづくり日本大賞優秀賞受賞
- 2008. 3 ●ヒートポンプエアコン導入 & 空調の細分化
- 2009. 3 ●高効率変圧器への更新完了
- 2010. 5 ●食堂空調のヒートポンプエアコンへの更新
- 2011. 3 ●社有車ハイブリッドカーの導入拡大
- 2014. 8 ●平成25年度冬の省エネ県民運動 優良事業所表彰
- 2015. 3 ●LED照明導入開始
- 2016. 3 ●成形金型工場(D棟)コンプレッサーを最新省エネタイプに更新
- 2018. 4 ●省エネ空調設備を導入した時計工場(G棟)が竣工
- 2019. 2 ●F棟1階西側空調機のヒートポンプエアコンへの更新

環境保全活動体制(ISO14001マネジメントシステム)



社会への貢献

さくらんぼマラソン

毎年6月に開催の「さくらんぼマラソン」に協賛しています。カシオ計算機(株)グループの方々からも、多数の参加協力を頂き、大会への参加はもちろん、大会当日の給水所の協力などで間接的にも協力し、地域社会への貢献にも尽力いたしております。



会社近隣の清掃活動

当社敷地内の除草、清掃はもちろん、所在している「東根・大森工業団地」内、工場周辺の除草、清掃活動を行っております。



この報告書に関するご意見・お問い合わせは下記まで

山形カシオ株式会社 企画管理部 業務管理課
〒999-3701 山形県東根市大字東根甲5400-1
TEL:0237-43-5112 FAX:0237-43-6784
E-mail: shibuyaku-yam@casio.co.jp

会社概要

(2019年7月1日現在)



社名 ● 山形カシオ株式会社
代表者 ● 代表取締役社長 福士 卓
URL ● <http://www.yamagata-casio.co.jp>
所在地 ● (本社) 山形県東根市大字東根甲5400番地の1
(山梨事業所) 山梨県笛吹市一宮町東原911-3
売上高 ● 301億円(2018年度)
資本金 ● 15億円
従業員数 ● 612名
取扱商品 ● 時計、プロジェクター、電卓、医療機器、プラスチック成形、金型、ダイブランシーバ



[環境サイトレポート対象期間] 2018年4月～2019年3月
[対象範囲] 本社
[発行日] 2019年7月